

Smart Netcommunity

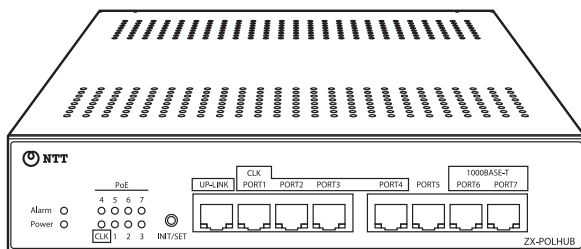
α ZX

給電HUB

取扱説明書

このたびは、スマートネットコミュニティ
 α ZX 給電HUBをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。








安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

- 本製品・技術を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

IMPORTANT NOTICE

In case you are intending to export this product and/or technology to overseas. You are responsible to verify and comply with Foreign Exchange and Foreign Trade Act in Japan, Export control laws of the United States, and other export related restrictions, and follow the necessary procedures and/or approval prior to export.

- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、バックアップをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有のデータ登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。詳しくは当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 本書とともに必ず、スマートネットコミュニティ主装置の取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 本書とともに必ず、ご使用のパソコンの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。

- Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™、®は明記していません。



警告

●本商品やACケーブル、LANケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本商品やACケーブル、LANケーブル、LANケーブルのコネクターに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作やACケーブル、LANケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください(分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります)。

●本商品、ACケーブル、LANケーブル、LANケーブルのコネクターのそばに水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、ACケーブル、LANケーブル、LANケーブルのコネクターに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●電源は、AC100V商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品のACケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると本商品のACケーブルが破損し、火災・感電の原因となることがあります。ACケーブルが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください



- テーブルタップや分岐電源コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のACケーブルが痛んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にて修理をご依頼ください。
- 万一、本商品内部に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部やACケーブル、LANケーブル、LANケーブルのコネクターに異物や水などが入った場合は、すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、LANケーブルのコネクターがぬれた場合は、乾いても、使用しないでください。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- ACケーブルはほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、ACケーブルを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- ACケーブルは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- ACケーブルを電源コンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ACケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や本商品のACケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットや本商品のACケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



警告

●本商品をお手入れするときは、ACケーブルを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり。火災・故障の原因となることがあります。

次のような設置のしかたはしないでください。

- 本商品を逆さまにする。
- 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
- 本商品にテーブルクロスなどをかける。
- 本商品の周りに物をおいて、通風孔をふさがない。
- 積み重ねて設置しない。

お使いになる前に（設置環境）



注意

●本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

●本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●壁掛けする場合は必ずオプション品の壁掛けブラケットと壁掛け用ネジをお使いになり取り付けは専門の作業員にお任せください。落下により、けがや故障の原因となることがあります。

お使いのとき



注意

●本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACケーブルを電源コンセントから抜いてください。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて



- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただしLANケーブルのコネクター部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- ACケーブルを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- コネクターに異物を差し込んだり、端子面に触れないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について

こんな場合は、通信ができなくなったりすることがあります。



- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバーターエアコン、電磁調理器など）。
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や塩分の多いところ（海岸）、亜硫酸ガスが発生する場所（工業地域の大気汚染環境）、アンモニアが発生する場所（工場内、下水処理場等の汚染環境）などでは、本商品の寿命が短くなる可能性があります。

目次

安全にお使いいただくために 必ずお読みください.....	2
---------------------------------	---

1 お使いになる前に

特長.....	8
セットを確認してください.....	9
各部の名前.....	10

2 接続する

接続手順.....	13
接続する.....	13

3 設定する

操作の流れ.....	14
パソコンの接続.....	15
お客様にご用意いただくもの.....	15
動作環境について.....	15
Webブラウザの設定.....	16
本商品にログインするには.....	17
Web設定画面.....	19
全ての画面で共通する注意事項.....	19
トップページ.....	19
IP設定.....	21
ポート設定.....	22
給電設定.....	23
同期設定.....	24
モニター設定.....	25
ポートVLAN設定.....	26
タグVLAN設定.....	27
優先制御設定.....	28
時刻設定：手動時刻設定.....	30
時刻設定：自動時刻設定.....	31
保守機能：ユーザー設定.....	32
保守機能：ファームウェア更新.....	33

保守機能：設定データ.....	33
保守機能：ログ.....	34
保守機能：初期化.....	35

4 ご参考に

ネットワーク構成例.....	36
例1. ポートVLAN.....	36
例2. マルチプルVLAN.....	38
例3. タグVLAN.....	40
例4. タグ対応ネットワークに タグ未対応機器を接続.....	42
例5. タグありタグなし混在下に おけるタグVLAN.....	44
例6. 優先制御設定 ポートプライオリティー.....	46
例7. 優先制御設定 CoSプライオリティー.....	48
例8. 優先制御設定 DSCPプライオリティー.....	50
故障かな？と思ったときは.....	52
仕様.....	53
保守サービスのご案内.....	54

オートネゴシエーション機能をサポート

サポートしている通信速度および通信モードでもっとも高速なモードが自動選択されます。

給電機能

IP 電話機などへ電力を供給できますので、端末側で AC アダプターが不要となり配線が簡素化されます。Web 設定により、各ポートの給電開始と停止を制御できます。

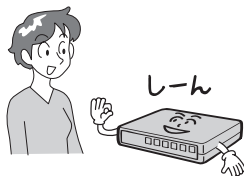


見やすいランプ表示

各ポートの通信状態や給電状態がランプで表示されます。

ファンレス静音設計

ファンを使用しない自然冷却方式ですので、騒音が気になりません。



省エネ機能（未使用ポート電力カット）

各ポートの使用状態を検出し、未使用ポートの余分な電力をカットすることで、電力消費を軽減できます。

配線ループ検知機能

ポート毎に配線ループ状態をチェックし、配線ループを検知すると対象ポートを自動的に閉塞状態にし、他ポートへの影響を抑制します。

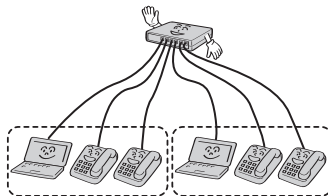
なお、配線ループ状態による閉塞状態からの復旧については、配線ループ状態が解消された時点で自動的に閉塞状態を解除します。

オートクロスオーバー機能をサポート

接続されたケーブルの種類に応じて、自動的に HUB のポート内部の接続を切り替えられます。

ポートベース VLAN

ポート単位でグループ化して VLAN を構築できます。

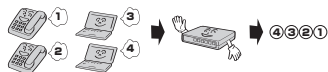


タグベース VLAN

タグの VLAN ID 単位でグループ化して VLAN を構築できます。

優先制御

「ポートプライオリティー」、「CoS プライオリティー」、「DSCP プライオリティー」、これらの優先制御を 4 段階で設定できます。

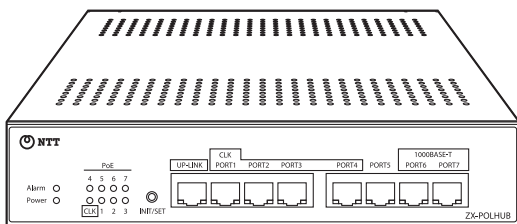


モニター機能

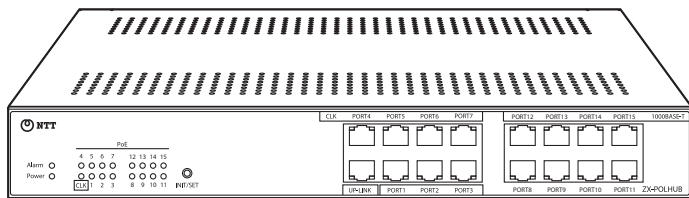
Web 設定により、ポート 7（8 ポート品の場合）／ポート 15（16 ポート品の場合）をモニターポートとして使用することができます。

セットを確認してください

■ 本体 (1台)



(8ポート品)

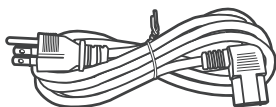


(16ポート品)

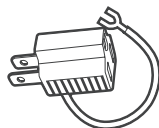
■ 付属品



取扱説明書 (1部)



ACケーブル



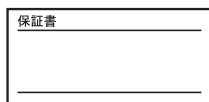
電源用変換プラグ



相談センタシール



ゴム足 (4個)



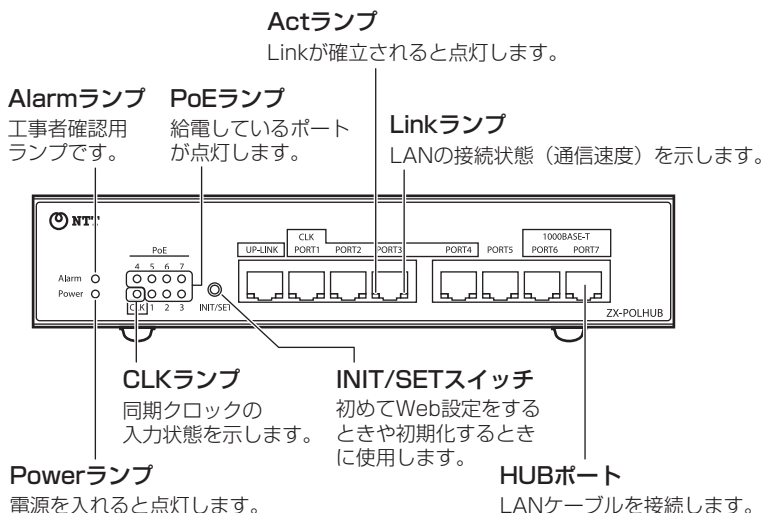
保証書

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

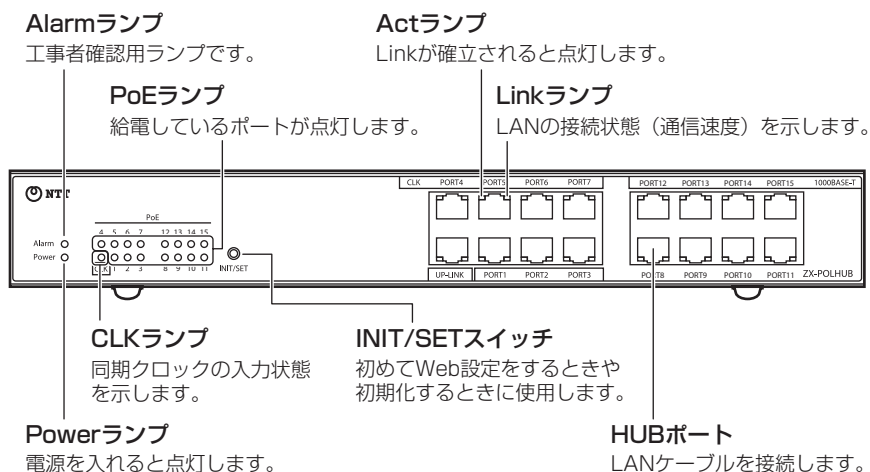
各部の名前

■ 前面

8ポート品



16ポート品

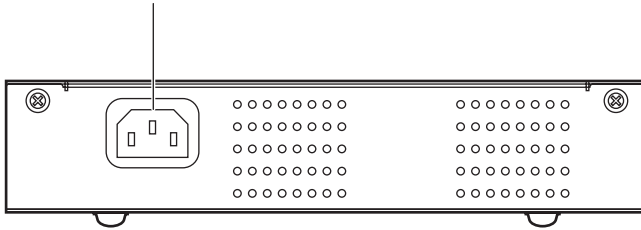


■ 背面

8ポート品

ACケーブル接続ポート

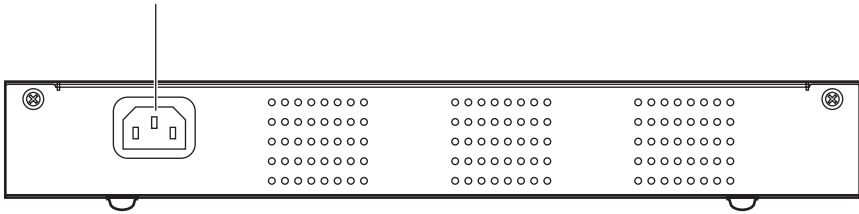
付属のACケーブルを接続します。



16ポート品

ACケーブル接続ポート

付属のACケーブルを接続します。



各部の名前

■ ランプの表記について

ランプの種類	ランプの個数	ランプのつきかた	状態
CLKランプ	1	緑点灯	クロックが入力されている状態です。
		消灯	クロックが入力されていない状態です。
Powerランプ	1	緑点灯	電源が入っている状態です。
		消灯	電源が入っていない状態です。
PoEランプ	7 ^{*1}	緑点灯	給電している状態です。
		緑点滅（速い点滅）	給電が中断されている状態です。
		緑点滅（遅い点滅）	給電異常が検出されている状態です。
		消灯	給電していない状態です。
Linkランプ	8 ^{*2}	緑点灯	100BASE-TXで運用している状態です。
		赤点灯	1000BASE-Tで運用している状態です。
		消灯	Linkが未確立の状態または10BASE-Tで運用している状態です。
Actランプ	8 ^{*2}	緑点灯	Linkが確立された状態です。
		緑点滅	データが送受信されている状態です。
		消灯	Linkが未確立の状態です。
Alarmランプ	1	緑点灯	アラーム要因ありの状態です。
		消灯	アラーム要因なしの状態です。

※1 8ポート品の場合の個数です。16ポート品の場合は15個です。

※2 8ポート品の場合の個数です。16ポート品の場合は16個です。

■ スイッチ

【INIT/SET】

初期化・初期設定兼用スイッチです。

初めてWeb設定をするときは、スイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで（約5秒）押し続けてください。

【底面のスイッチ】

ご使用になれません。触らないでください。



お知らせ

- 本商品は初期値のままでも給電機能を使用できるように、Web設定は出荷時に“給電ON”になっています。初期値のままでもPoE非対応機器を接続しても、本商品側で対応機器か否かを判定し給電を停止します。よって、通常では壊れることはありませんが、念のため、PoE非対応機器を接続する場合は“給電OFF”に設定することを推奨します。
- IP設定は“IPなし”になっています。設定を行う場合は、INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで（約5秒）押し続けてください。上記操作により、本商品は“固定IP”（192.168.1.200）になります。なお、初回設定時は必ずIP設定を行ってください。IP設定を行わない場合、次回起動時は“IPなし”に戻ります。PoEランプが見つからない場合は、本商品の正面からご確認ください。

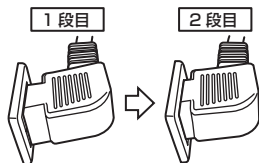
接続する

1 IP電話機、またはネットワークに接続する他の端末を接続します。

必要な場合はUP-LINKポートにネットワークを接続します。

2 ACケーブルを本体に差し込み、その後、電源プラグをACコンセントに差し込みます。

ACケーブルを本体に差し込む際、1段目で挿入した感覚がありますが、2段目まできっちりと挿入してください。



3 本体のPowerランプが点灯することを確認します。

端末が各ポートに正常接続されている場合は、Actランプが点灯または点滅します。また、IP電話機を接続したポートのPoEランプが点灯します。



ワンポイント

● 起動と停止

本商品は電源プラグをACコンセントに差し込むと起動し、電源プラグを抜き取ると停止します。



● お知らせ

● 本商品はオートクロスオーバーコネクタ対応のため、カスケード接続する場合もストレートケーブルで接続できます。また、スイッチングHUBどうしのカスケード接続について、カスケードできる数に理論上の制限はありませんが、ネットワークに接続しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。



● お願い

- すべてのLANケーブルは機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。本商品と端末を接続するLANケーブルの長さは100m以内にしてください。また、LANケーブルはカテゴリ5e以降を使用してください。
- 電源はアース端子のついた3極のコンセントをご利用いただくか、添付の変換プラグを用いて接地極を確実にアースに接続してください。なお、接地はD種接地以上の規格のものをご利用ください。

操作の流れ

本商品の接続から運用までの操作を以下に示します。

パソコンの設定を行う

パソコンから本商品の設定をしたり、インターネットにアクセスするためには、パソコン側でネットワークの設定を行なう必要があります。

接続する

パソコンと接続する

パソコンと本商品の何れかのポートを、10BASE-T ケーブル/100BASE-TXケーブル/1000BASE-T ケーブルにより接続します。

※1000BASE-T対応のポートは、ポート6~7のみ（8ポート品）／ポート12~15のみ（16ポート品）です。同期設定によりUP-LINKポートも対応します。

IPアドレスを割当てる

お買い求め時の本商品は「IPなし」に設定されています。以下の操作によりIPアドレスを割当ててください。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入する

PoEランプが全点滅するまで（約5秒）待ってからINIT/SETスイッチを離す

Web設定を行う

本商品の各種Web設定は、Webブラウザにより行います。

Webブラウザを起動する

本商品と同一ネットワークに接続されたパソコンのWebブラウザを起動します。

※WebブラウザのJavaScriptの設定は必ず「有効」にしてご使用ください。

本商品にログインする

Webブラウザにより本商品へアクセスします。Webブラウザのアドレスバーに本商品のIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押します。

認証画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

※INIT/SETスイッチでIPアドレスを割当てた場合、アクセスURLは192.168.1.200となります。

※お買い求め時は、ユーザー名「admin」、パスワード「admin」に設定されています。

各種設定を行う

設定メニューが画面左側に表示されます。

設定したい項目のメニューをクリックすると、設定画面が表示されます。

※各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず[設定保存] ボタンをクリックしてください。

※初回設定時は必ずIP設定を行ってください。IP設定を行わない場合、IP設定は「IPなし」に戻ります。

再起動する

データの変更を行った場合は、必ずWeb設定画面より再起動を行ってください。

運用する

運用を開始します。

パソコンの接続

パソコンと本商品を接続するには、パソコンとLANケーブルが必要です。パソコンのLANポートと本商品のLANポートをLANケーブルで接続してください。

お客様にご用意いただくもの

・パソコン

10BASE-Tまたは100BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-Tに対応したLANポートを備えていることをご確認ください。



・LANケーブル

LAN配線用カテゴリ 5e以降のLANケーブルをご用意ください。



動作環境について

本商品にLAN接続したパソコンでWebブラウザを起動し、パソコンの画面で本商品の各種設定が行えます。パソコンで設定操作を行うには、次の動作環境が必要です。

推奨OS	推奨Webブラウザ
Windows 10 (Home、Pro) (64bit)	Internet Explorer 11.0*
Windows 8.1 (Windows 8.1、Pro、Enterprise) (32bit/64bit)	Internet Explorer 11.0*

項目	条件
同時接続台数	1台
解像度	XGA以上
文字サイズ	「中」以下
文字コード	Shift-JIS

※ デスクトップ用Internet Explorerをご利用ください。タッチデバイス用に最適化されたWindows UIのInternet Explorerは使用しないでください。

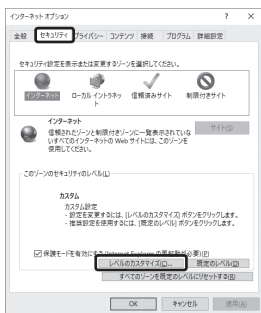
Webブラウザの設定

本商品の設定は、パソコンのWebブラウザで行います。
お使いのWebブラウザでJavaScriptが利用可能になっていることを確認してください。
以下は、Internet Explorer 11.0で確認する方法を説明しています。

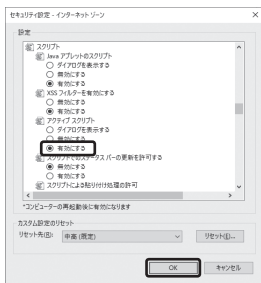
1 Internet Explorerを起動します。

2 [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックします。

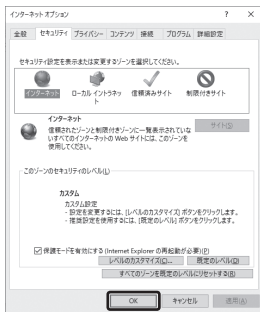
3 [セキュリティ] タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。



4 「スクリプト」の項目で、[アクティブスクリプト] の設定が [有効にする] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



5 [インターネットオプション] 画面の [OK] をクリックします。



ワンポイント

- ポップアップをタブで表示する設定にしている場合はInternet Explorer 11.0をご利用の場合、ポップアップを新しいタブで表示する設定に変更していると、操作しにくい場合があります。次のように操作して、設定を変更してください。
 - ① 手順1～2の操作をする
 - ② [全般] タブにある [タブ] をクリックする
 - ③ [ポップアップの発生時] で [常に新しいウィンドウでポップアップを開く] を選択し、[OK] をクリックする
 - ④ [インターネットオプション] 画面の [OK] をクリックする

お知らせ

- アクティブスクリプトの設定が [有効にする] になっていないと、利用メニューから各機能をクリックしてもエラーメッセージが表示されて、ご利用になれません。
- Web設定をご利用になる場合、Webブラウザ一画面の大きさを変えないでください。設定した文字等が欠けて表示される場合があります。

本商品にログインするには

本商品の各種Web設定をするには本商品にログインする必要があります。
画面に従ってログインしてください。

名称	説明	設定範囲	初期値
ユーザー名	本商品にログインするためのユーザー名を入力する。 大文字小文字も区別される。	最大10文字 (半角文字) (A～Z、a～z、 0～9)	admin
パスワード	本商品にログインするためのパスワードを入力する。 大文字小文字も区別される。		admin

1 パソコンのWebブラウザを起動します。

Webブラウザのアドレスバーに本商品のIPアドレス「192.168.1.200」を入力し、[Enter] キーを押します。



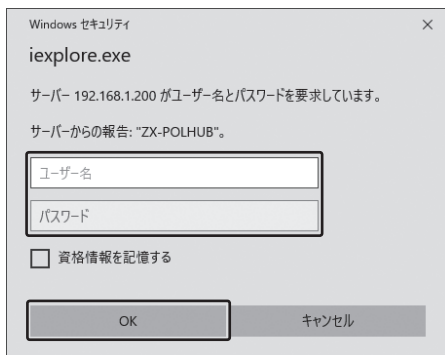
2



お知らせ

- お買い求め時は、「IPなし」となっています。INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで（約5秒）押し続けます。この時暫定的に「192.168.1.200」になります。

認証画面が表示されたら、ユーザー名およびパスワードを入力します。



3

**お知らせ**

- お買い求め時は、ユーザー名「admin」、パスワード「admin」に設定されています。
- ご使用のパソコンによっては、認証画面表示が隠れる場合があります。

4

[OK] ボタンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックし、本商品にログインしてください。トップページが表示されます。

**ワンポイント**

- ユーザー名またはパスワードを設定・変更するには (P32)

全ての画面で共通する注意事項

- 初めて設定する場合は必ずIP設定を行ってください。IP設定を行なわない場合、IP設定は「IPなし」に戻ります。
- 各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず「設定保存」ボタンをクリックしてください。「設定保存」ボタンをクリックせずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存されていた値となります。
- 設定したデータは全て再起動後から有効となります。ただし給電設定は即時に反映されるため、再起動の必要はありません。
- WebブラウザのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。
- 画面が正しく表示されない場合は、Webブラウザの更新ボタンをクリックしてください。

トップページ

本商品にログインした直後に表示される画面です。
画面左側のメニューをクリックすることで、各種設定画面(☛P21～P35)に切り替わります。
この取扱説明書では、8ポート品の画面例を用いて説明しています。



■ 基本情報

MACアドレス	MACアドレスを表示します。
IPアドレス	IPアドレスを表示します。
マスク長	サブネットマスク長を表示します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを表示します。
優先DNSサーバー	優先DNSサーバー情報を表示します。
代替DNSサーバー	代替DNSサーバー情報を表示します。

■ 状態表示

Link	○：リンク確立状態です。 ×：リンク未確立状態です。
速度	1000M：1000Mbpsで接続中です。 100M：100Mbpsで接続中です。 10M：10Mbpsで接続中です。
Duplex	FULL：全二重で接続中です。 HALF：半二重で接続中です。
MDI/MDIX	MDI：MDIで接続中です。 MDIX：MDIXで接続中です。
給電	○：給電状態です。 (非給電状態では表示なしとなります。)
閉塞	○：閉塞状態です。 (非閉塞状態では表示なしとなります。)
装置	高温断：本商品が温度異常状態です。 装置異常断：本商品が装置異常状態です。

※本商品の温度が上がると自動で給電を停止し、「装置」欄に高温断と表示されます。通風孔をふさいでいないか確認し、電源を再投入してください。

※ [更新] ボタンをクリックすることで、状態表示を更新できます。

■ その他（設定画面上部）

バージョン表示	本商品のファームウェアのバージョンを表示します。
ログインユーザー表示	ログインしているユーザー名を表示します。
再起動	ボタンをクリックすると再起動します。 設定を変更した場合は必ず再起動してください。

※上記の表示および [再起動] ボタンは次ページ以降に記載するどの画面でも共通ですので、以降の説明は省略します。

※再起動した後に、自動的に画面が更新されない場合は、Webブラウザの更新ボタンをクリックしてください。

IP 設定

I P 設定	
IPアドレス等の設定を行います。	
I P 設定	固定IP ▼
I P アドレス	192.168.1.200 <small>IPv4アドレスを半角で入力してください。</small>
マスク長	24 bit <small>半角数字 (1~30) を入力してください。</small>
デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/> <small>IPv4アドレスを半角で入力してください。</small>
優先DNSサーバー	<input type="text"/> <small>IPv4アドレスを半角で入力してください。</small>
代替DNSサーバー	<input type="text"/> <small>IPv4アドレスを半角で入力してください。</small>
D S C P	46 <small>半角数字 (0~63) を入力してください。</small>
<input type="button" value="設定保存"/> <input type="button" value="元に戻す"/>	

■ 設定値

IP設定	DHCP：自動でIPアドレスを設定します。 固定IP：手動でIPアドレスを設定します。 IPなし：本商品にアクセスできません。
IPアドレス	IPアドレスを設定します。
マスク長	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。
優先DNSサーバー	優先DNSサーバー情報を設定します。
代替DNSサーバー	代替DNSサーバー情報を設定します。
DSCP	DSCP値を設定します。

※IPアドレスを変更して再起動した場合、自動接続できません。設定したIPアドレスで本商品に接続しなおしてください。

ポート設定

トップページへ戻る
ポート設定

ポートの動作設定を行います。
※ Auto-Nego初期値で100Mbps可能

ポート	Auto-Nego		速度	Duplex	MDI/MDIX
UP-LINK	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効	100M ▾	FULL ▾	AUTO ▾
ポート1	<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効	10M ▾	HALF ▾	MDI ▾
ポート2	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効	100M ▾	FULL ▾	AUTO ▾
ポート3	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効	100M ▾	FULL ▾	AUTO ▾
ポート4	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効	100M ▾	FULL ▾	AUTO ▾
ポート5	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効	100M ▾	FULL ▾	AUTO ▾
ポート6	<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効	100M ▾	FULL ▾	MDI ▾
ポート7	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効	100M ▾	FULL ▾	AUTO ▾

設定保存
元に戻す

■ 設定値

Auto-Nego	有効：オートネゴシエーション有効（初期値） 無効：オートネゴシエーション無効 1000Mbpsで接続する場合は、Auto-Negoを有効に設定してください。
速度	Auto-Negoを無効に設定した場合に設定します。 100M：100Mbps 10M：10Mbps
Duplex	Auto-Negoを無効に設定した場合に設定します。 FULL：全二重 HALF：半二重
MDI/MDIX	MDI：MDI MDIX：MDIX AUTO：オートクロスオーバー（初期値）

※速度を100M固定にすると、オートクロスオーバーは選択できません。

給電設定

トップページへ戻る
給電設定

- ▶ I P 設定
- ▶ ポート設定
- ▶ 給電設定
- ▶ 初期設定
- ▶ モニター設定
- ▶ ポートVLAN設定
- ▶ タグVLAN設定
- ▶ 優先制御設定
- ▶ 時刻設定
- ▶ 保守機能

ポートの給電設定を行います。

ポート	有効	無効
ポート1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ポート2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ポート3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ポート4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ポート5	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ポート6	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ポート7	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

現在消費している電力の合計： 2 W

※ 本画面表示時に他番機が消費している電力が合計値と異なります。他番機が最大消費電力を超えた場合の上、電線の断絶を伴うことがあります。

設定値

給電設定	有効：給電あり（初期値） 無効：給電なし
消費電力合計	現在消費している電力の合計値を表示します。

※最大給電電力は70W（8ポート品）／100W（16ポート品）です。それを超えた場合優先順位の低いポートから切断されます。

〔優先順位〕 8ポート品：ポート1>2>3>4>5>6>7

16ポート品：ポート1>2>3>4>5>6>7>8>…>15

なお、チャタリング防止のため、約67～70W（8ポート品）／約97～100W（16ポート品）の間は新規接続ポートへ給電しないようにガードしています。

同期設定

同期設定	
同期ユニットの設定を行いません。	
クロック入力設定	<input type="radio"/> 内部クロック <input checked="" type="radio"/> UP-LINK
クロック出力設定	
ポート	出力
ポート1	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ポート2	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ポート3	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ポート4	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
<input type="button" value="設定保存"/> <input type="button" value="元に戻す"/>	

■ 設定値

クロック入力設定	UP-LINK：UP-LINKポートから入力したクロックを出力します。 内部クロック：本商品のクロックを出力します。(初期値) 「UP-LINK」に設定した場合、UP-LINKポートの対応リンク速度は100M/10Mのみとなります。1000Mにはなりません。
クロック出力設定	有効：クロック出力あり 無効：クロック出力なし(初期値) ポート1～4(8ポート品)／ポート1～7(16ポート品)が対象となります。

※本設定を変更する場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

モニター設定

トップページへ戻る

モニター設定

モニターポート（ポート7）の設定を行いません。

モニター設定 有効 無効

モニター対象設定

ポート	モニター対象	モニター種別
UP-LINK	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	送信
ポート1	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	送受信
ポート2	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	送信
ポート3	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	送信
ポート4	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	送信
ポート5	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	送信
ポート6	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	送信

設定値

モニター設定	無効：ポート7（8ポート品）／ポート15（16ポート品）をモニターポートとして使用しません。（初期値） 有効：ポート7（8ポート品）／ポート15（16ポート品）をモニターポートとして使用します。
モニター対象	有効：モニター元ポートとして使用します。 無効：モニター元ポートとして使用しません。
モニター種別	送信：送信パケットをモニターします。 送受信：送信受信双方向のパケットをモニターします。

※モニターするポート数を増やしたり、送受信双方向に設定することは可能です。ただし、パケットが溢れた場合の保証はできません。

※VLANを組んだポートに対してモニターする場合、被モニターポートと一緒にポート7（8ポート品）／ポート15（16ポート品）もVLANメンバーへ追加してください。

ポートVLAN設定

トップページへ戻る

ポートVLAN設定

ポートVLANの設定を行いません。
※ ポートVLANを使用する場合は、タグVLAN設定を無効にしてください。

有効 無効

詳細設定

ポート	ポートVLANグループ							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
UP-LINK	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポート1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポート2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポート3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポート4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポート5	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポート6	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポート7	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

* 横一列でチェックをつけない場合は、ポートVLANグループ下のチェックボックスをクリックしてください。
* 横一列でチェックをつけない場合は、ポート番号欄のチェックボックスをクリックしてください。

■ 設定値

ポートVLAN設定	無効：ポートVLANを使用しません。(初期値) 有効：ポートVLANを使用します。
ポートVLANグループ設定	VLANを形成したいポートを同じ列にチェックしてください。

※設定可能な最大グループ数は8グループ(8ポート品) / 16グループ(16ポート品)です。

タグ VLAN 設定

The screenshot shows the 'タグ VLAN 設定' (Tag VLAN Settings) page. It includes a sidebar with navigation options like '基本設定', 'ポート設定', 'VLAN設定', and 'タグ VLAN設定'. The main content area has a 'タグ VLAN 設定' section with a table for 'VLAN ID 設定' (VLAN ID Settings) and a 'タグ VLAN グループ' (Tag VLAN Group) table. The table for 'タグ VLAN グループ' has columns for 'タグ VLAN ID' and 'ポート' (Port) for ports 1 through 8. The 'ポート' column contains checkboxes for enabling/disabling the tag VLAN group on each port.

■ 設定値

タグVLAN設定	無効：タグVLANを使用しません。(初期値) 有効：タグVLANを使用します。						
VLANID設定	VLANIDを設定してください。設定範囲：1～4094						
タグ挿入削除設定	出力ポートでタグ挿入削除をするかどうか設定します。 なし：操作しません。(初期値) 削除：タグを削除します。 挿入：タグを挿入します。 挿入するタグの詳細値は以下の通りです。						
	<table border="1"> <tr> <td>VLAN-ID値</td> <td>入力ポートのデフォルトVLANID値による。</td> </tr> <tr> <td>CoS値[2:1]</td> <td>優先制御設定により格納された出力ポートでのキューレベル</td> </tr> <tr> <td>CoS値[0]</td> <td>入力ポートの設定による。</td> </tr> </table>	VLAN-ID値	入力ポートのデフォルトVLANID値による。	CoS値[2:1]	優先制御設定により格納された出力ポートでのキューレベル	CoS値[0]	入力ポートの設定による。
VLAN-ID値	入力ポートのデフォルトVLANID値による。						
CoS値[2:1]	優先制御設定により格納された出力ポートでのキューレベル						
CoS値[0]	入力ポートの設定による。						
デフォルトVLANID	デフォルトVLANIDを設定してください。 タグなしまたはVLANID=0のケットが来た場合に、この値で振り分けを行います。また、出力ポートでタグ挿入する際のVLANID値としても使用されます。 設定範囲：0～4094						
デフォルトCoS値	挿入するタグのCoS値[0]を1 / 0から設定してください。						
タグVLANグループ設定	VLANID のメンバポートを同じ行にチェックしてください。						

※設定可能な最大グループ数は8グループ (8ポート品) / 16グループ (16ポート品) です。
※全てのポートをタグVLANに設定すると、本商品にアクセスできなくなりますので、ご注意ください。

優先制御設定

優先制御設定	
トップページへ戻る ▶ IP設定 ▶ ポート設定 ▶ 接続設定 ▶ 回線設定 ▶ エンター設定 ▶ ボートVLAN設定 ▶ タグVLAN設定 ▶ 優先制御設定 ▶ 特設設定 ▶ 保守機能	優先制御の設定を行います。 方式 <input checked="" type="radio"/> 常に上位優先 <input type="radio"/> 1:2:4:8 ポートプライオリティ <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 詳細設定 CoSプライオリティ <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 詳細設定 DSCPプライオリティ <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 詳細設定 <input type="button" value="設定保存"/> <input type="button" value="元に戻す"/>

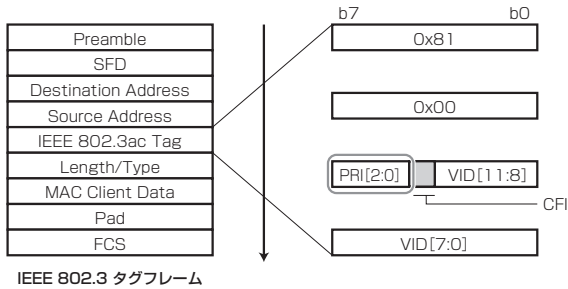
■ 設定値

方式	常に上位優先：常に高優先に設定したパケットから送出します。(初期値) 1:2:4:8：最低：低：高：最高のキューに積まれたパケットを1:2:4:8の割合で送出します。
ポートプライオリティ	無効：ポートプライオリティを使用しません。(初期値) 有効：ポートプライオリティを使用します。 [詳細設定] をクリックすると優先度を設定できます。 最低/低/高(初期値)/最高
CoSプライオリティ	無効：CoSプライオリティを使用しません。(初期値) 有効：CoSプライオリティを使用します。 [詳細設定] をクリックすると優先度を設定できます。 最低/低/高(初期値)/最高
DSCPプライオリティ	無効：DSCPプライオリティを使用しません。(初期値) 有効：DSCPプライオリティを使用します。 [詳細設定] をクリックすると優先度を設定できます。 最低/低/高(初期値)/最高

※優先制御3種を同時に含んだフレームは以下の優先度設定により処理されます。

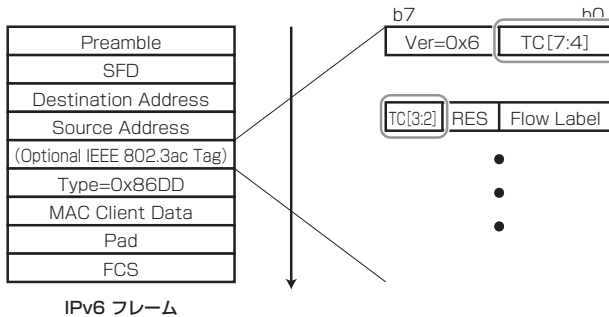
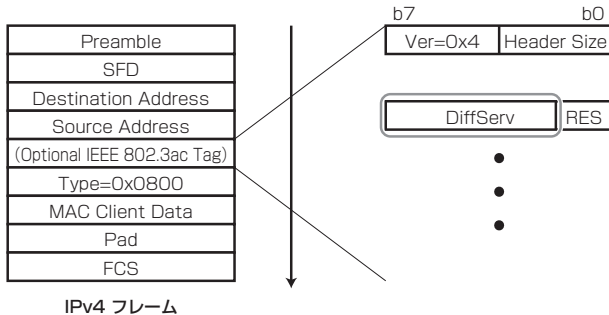
CoSプライオリティ > DSCPプライオリティ > ポートプライオリティ

CoSプライオリティー設定について



DSCPプライオリティー設定について

IPv4 IPv6 DSCP/Diffserv または IPv6 TC の6bitの各値毎に設定が可能です。
 下位2bitは00固定で8bitの16進数表示で記載されています。



時刻設定：手動時刻設定

時刻設定 > 手動時刻設定	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ トップページへ戻る ▶ IP設定 ▶ ポート設定 ▶ 給電設定 ▶ 同梱設定 ▶ モニター設定 ▶ ポートVLAN設定 ▶ タグVLAN設定 ▶ 優先制御設定 ▼ 時刻設定 <ul style="list-style-type: none"> • 手動時刻設定 • 自動時刻設定 ▶ 保守機能 	<p>時刻設定 > 手動時刻設定</p> <p>給電HUBの時刻設定を行います。</p> <p>手動時刻設定</p> <p>日付 <input type="text" value="西暦 2020"/> 年 <input type="text" value="01"/> 月 <input type="text" value="01"/> 日 <small>半角数字 (2020/1/1~2099/12/31) を入力してください。</small></p> <p>時刻 <input type="text" value="00"/> 時 <input type="text" value="00"/> 分 <small>半角数字 (00:00~23:59) を入力してください。</small></p> <p><input type="button" value="PC時刻取得"/> <input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="元に戻す"/></p>

■ 設定値および操作

日付	年月日を設定します。
時刻	時刻を設定します。
PC時刻取得	パソコンで設定されている時刻に合わせます。

時刻設定：自動時刻設定

時刻設定 > 自動時刻設定

給電HUBの時刻自動調整設定を行います。

自動時刻サーバー設定

SNTP機能	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
サーバーURL	<input type="text"/>	IPv4アドレス形式または、FQDN形式(最大63桁)を入力してください。
サーバーポート番号	<input type="text" value="123"/>	#角数字 (1~65535) を入力してください。
更新周期	<input type="text" value="24"/> 時間	#角数字 (1~24) を入力してください。

時刻更新実行 設定保存 元に戻す

前回時刻更新結果

時刻更新結果	<input type="text"/>
時刻更新時間	<input type="text"/>

■ 設定値および操作

SNTP機能	有効：SNTPサーバーにアクセスして時刻を補正します。 無効：SNTPサーバーにアクセスしません。(初期値)
サーバーURL	SNTPサーバーのURLを設定します。
サーバーポート番号	SNTPサーバーのポート番号を設定します。
更新周期	SNTPによる時刻の更新周期を設定します。
時刻更新結果	SNTPによる時刻の更新結果／実行状態を表示します。 成功：更新が成功 失敗：更新が失敗 更新中：時刻を更新中 (空白)：更新を未実施
時刻更新時間	時刻を更新した場合にSNTPサーバーから取得した時刻を表示します。

保守機能：ユーザー設定

トップページへ戻る

保守機能 > ユーザー設定

ユーザー名、パスワードの変更を行います。

ユーザー名	admin	半角英数字 (最大10桁) を入力してください。
新しいパスワード		半角英数字 (最大10桁) を入力してください。
新しいパスワードの確認		確認のため、新しいパスワードをもう一度入力してください。

設定保存 元に戻す

- IP設定
- ポート設定
- 経路設定
- 同期設定
- モニター設定
- ポートVLAN設定
- タグVLAN設定
- 優先制御設定
- 時刻設定
- 保守機能
 - ユーザー設定
 - ファームウェア更新
 - 設定データ
 - ログ
 - 更新止

■ 設定値および操作

ユーザー名	ユーザー名を変更します。 ユーザー名：admin (初期値)
新しいパスワード	パスワードを変更します。 パスワード：admin (初期値)
新しいパスワードの確認	確認のため、新しいパスワードを再入力します。

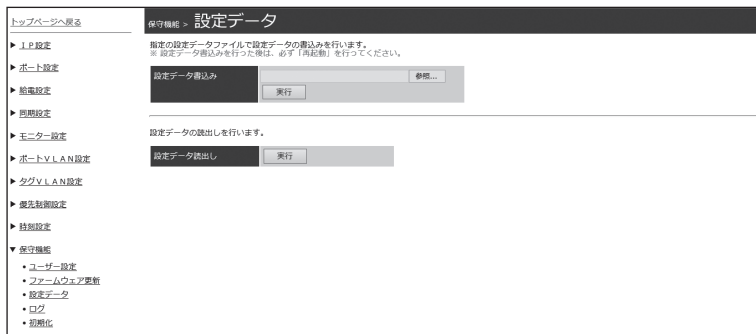
保守機能：ファームウェア更新



■ 設定値および操作

ファームウェア更新	パソコンに保存しているファームウェアファイルを用いて、ファームウェア更新を行います。
-----------	--

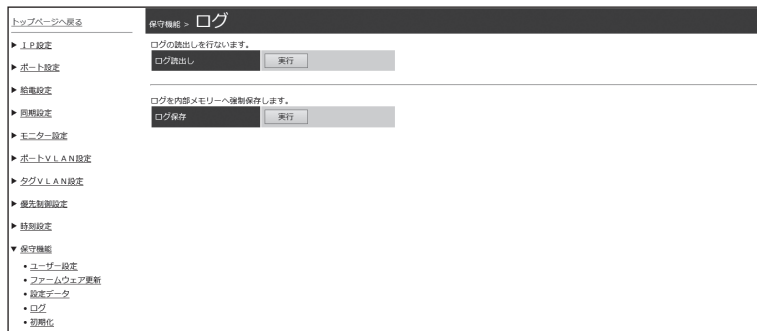
保守機能：設定データ



■ 設定値および操作

設定データ書き込み	パソコンに保存していた設定データを書き込みます。
設定データ読み出し	設定データをパソコンへ保存します。

保守機能：ログ



■ 設定値および操作

ログ読出し	ログデータの読み出しを行います。
ログ保存	ログデータを給電HUBの内部メモリに保存します。

※ログ読出しを行う際、“ファイルを開く”で表示できない場合は、一旦“保存”でパソコンに保存してから確認してください。

※ログの保存件数は最大500件です。

保守機能：初期化



■ 設定値および操作

設定データ初期化

設定データを工場出荷状態へ戻します。

※初期化を行うとIPアドレスは「IPなし」に戻ります。

ネットワーク構成例

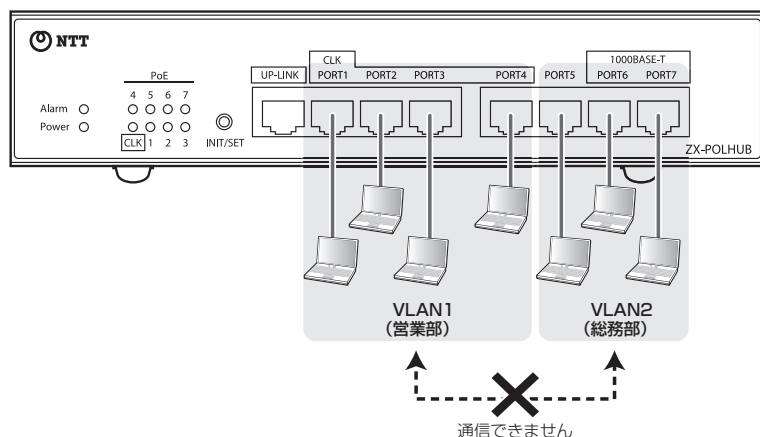
例1. ポートVLAN

ポートVLANは、LANを仮想的に分割します。不正アクセスを防止したり、ネットワークトラフィック軽減のために使われます。

この例では、ポートVLANを利用した設定方法を説明します。VLANを営業部用と総務部用に分割します。なお、この場合、営業部と総務部の間で通信できなくなります。

■ 設定の概要 (8ポート品の場合)

- 本商品を1台使用する
- VLANを2グループ作成する
 - VLAN1：ポート1～4 …… 営業部
 - VLAN2：ポート5～7 …… 総務部



■ 設定のしかた

1 機器を準備する

- 1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

2 本商品にログインする

- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力します。

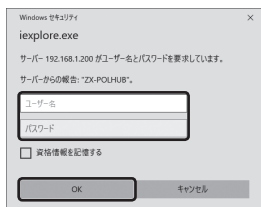
INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「192.168.1.200」に設定されています。

- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：admin

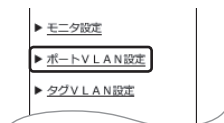
パスワード：admin



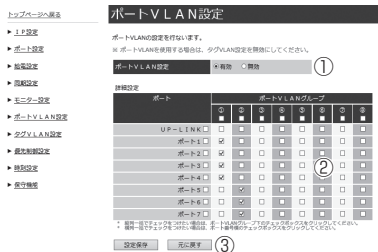
3 VLANを作成する

P36の接続図の通りにVLANを作成します。

- 1 画面左側のメニューで【ポートVLAN設定】をクリックします。



- 2 「ポートVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。



- ① ポートVLAN設定を [有効] に設定する。



- ② 各ポートの設定項目を下表のとおり設定する。

	ポートVLANグループ①	ポートVLANグループ②
UP-LINK		
ポート1～ポート4	✓	
ポート5～ポート7		✓

- ③ [設定保存] ボタンをクリックする。



● お知らせ

- 同じ列にチェックを入れたポートのグループで一つのVLANが作成されます。

4 再起動をする

- 1 本商品を再起動します。

例2. マルチプルVLAN

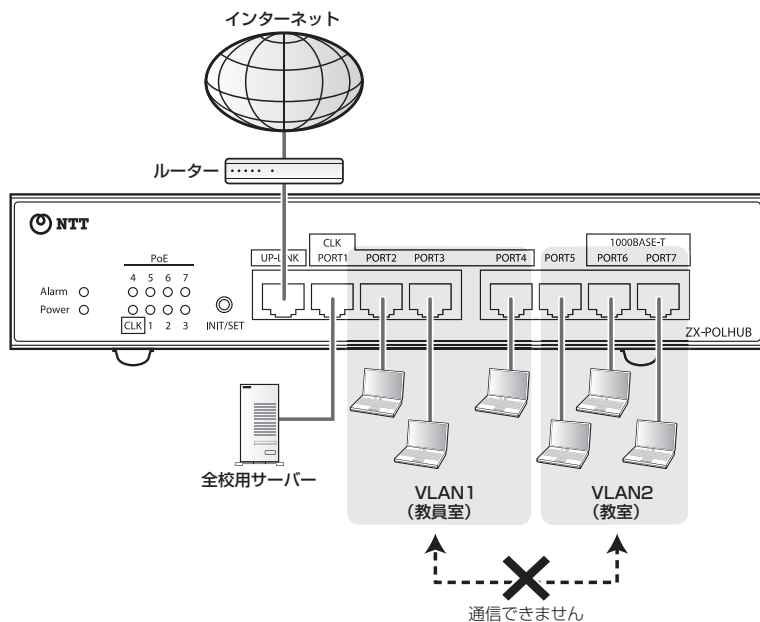
マルチプルVLANは、任意のポートを複数のVLANに属させることにより、セキュリティを保ちながら、ネットワーク設計の柔軟性を向上させたVLAN機能です。

この例では、マルチプルVLANを利用した設定方法を説明します。教員室が属するVLANと生徒用の教室が属するVLANに分割し、ルーターやサーバーを接続するポートをマルチプルポートにします。

この場合、教員室からも教室からもインターネットや全校用のサーバーにアクセスできます。ただし、教員室と教室の間では通信できません。

■ 設定の概要 (8ポートの場合)

- 本商品を1台使用する
- VLANを2グループ作成する
 - VLAN1：ポート2～4 …… 教員用
 - VLAN2：ポート5～7 …… 生徒用
- ポート1およびUP-LINKはVLAN1とVLAN2で共用する



■ 設定のしかた

1 機器を準備する

- 1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

2 本商品にログインする

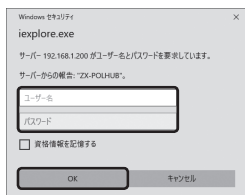
- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「192.168.1.200」に設定されています。

- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

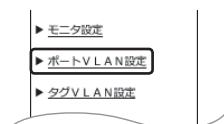
ユーザー名：admin
パスワード：admin



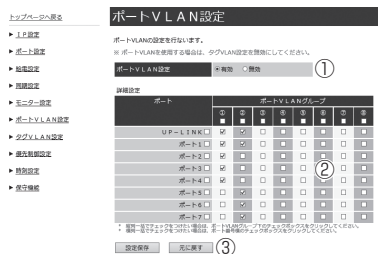
3 VLANを作成する

P38の接続図の通りにVLANを作成します。

- 1 画面左側のメニューで【ポートVLAN設定】をクリックします。



- 2 「ポートVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。



- ① ポートVLAN設定を [有効] に設定する。



- ② 各ポートの設定項目を下表のとおり設定する。

	ポートVLANグループ①	ポートVLANグループ②
UP-LINK	✓	✓
ポート1	✓	✓
ポート2～ポート4	✓	
ポート5～ポート7		✓

- ③ [設定保存] ボタンをクリックする。



お知らせ

- 同じ列にチェックを入れたポートのグループで一つのVLANが作成されます。
- 複数の列にチェックを入れたポートは、複数のグループで共有されます。

4 再起動をする

- 1 本商品を再起動します。

ネットワーク構成例

例 3. タグ VLAN

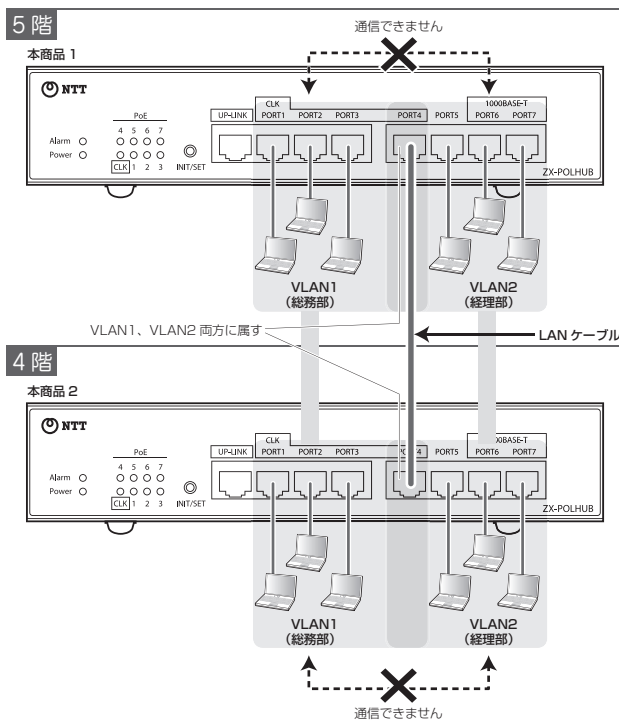
タグVLANでは、複数のスイッチをまたがったVLANを構築できます。

この例では、タグVLAN を利用します。本商品2台をLANケーブル1本で接続し、異なるフロア間で同じVLANを利用できるようにしています。

この場合は、総務部と経理部の間では通信できません。ただし、フロアが異なっても同じVLAN グループ（総務部どうし、経理部どうし）は通信できます。

■ 設定の概要（8ポート品の場合）

- 本商品を2台使用する
- VLANを2グループ作成する（2台とも）
 - VLAN1：ポート1～3 …… 総務部
 - VLAN2：ポート5～7 …… 経理部
 - VLAN3：ポート4 …… 本商品どうしの接続用



■ 設定のしかた

1 機器を準備する

- 1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

2 本商品にログインする

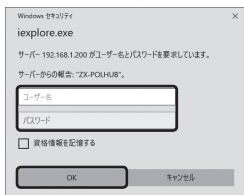
- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで(約5秒)押し続けた時、本商品のIPアドレスは「192.168.1.200」に設定されています。

- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

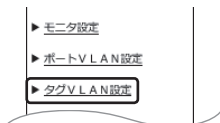
ユーザー名：admin
パスワード：admin



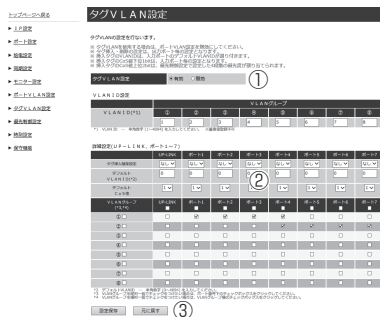
3 VLANを作成する

P40の接続図の通りにVLANを作成します。

- 1 画面左側のメニューで「タグVLAN設定」をクリックします。



- 2 「タグVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。



- ① タグVLAN設定を「有効」に設定する。



- ② 各ポートの設定項目を下表のように設定する。

	UP-LINK	ポート1～ ポート3	ポート4	ポート5～ ポート7
タグ挿入削除設定	なし	なし	なし	なし
デフォルトVLAN	0	0	0	0
デフォルトCOS値	1	1	1	1
VLANグループ①		✓	✓	
VLANグループ②			✓	✓

- ③ 「設定保存」ボタンをクリックする。



お知らせ

- もう一台の本商品と接続するポートに対して、それぞれのVLANグループにチェックを入れることで、タグVLANが設定されます。

4 再起動をする

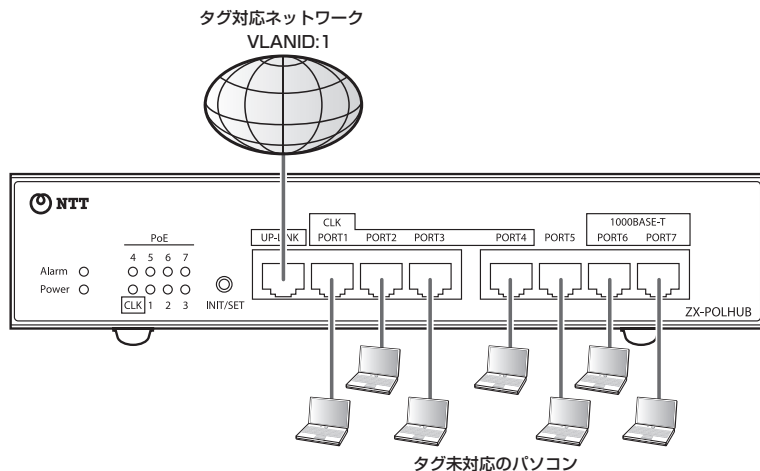
- 1 本商品を再起動します。

例 4. タグ対応ネットワークにタグ未対応機器を接続

本商品を使用すると、タグに対応したネットワークへタグ未対応機器を接続することができます。この例では、タグ挿入削除機能を使用して、タグに対応ネットワークへタグ未対応のパソコンを接続する場合の設定方法を説明します。

■ 設定の概要 (8ポート品の場合)

- 本商品を1台使用する
- タグ未対応機器接続ポートを設定する ポート1～7
タグ挿入削除設定：削除
デフォルトVLANID：1
- タグ対応ネットワーク用ポートを設定する UP-LINK
タグ挿入削除設定：挿入
- VLANを1グループ作成する
VLAN1：UP-LINK、ポート1～7



■ 設定のしかた

1 機器を準備する

- 1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

2 本商品にログインする

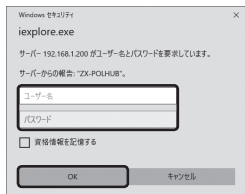
- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで(約5秒)押し続けた時、本商品のIPアドレスは「192.168.1.200」に設定されています。

- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

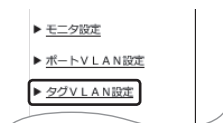
ユーザー名：admin
パスワード：admin



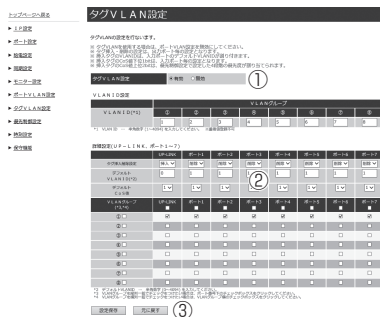
3 VLANを作成する

P42の接続図の通りにVLANを作成します。

- 1 画面左側のメニューで【タグVLAN設定】をクリックします。



- 2 「タグVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。



- ① タグVLAN設定を [有効] に設定する。



- ② 各ポートの設定項目を下表のように設定する。

	UP-LINK	ポート1～ポート7
タグ挿入削除設定	挿入	削除
デフォルトVLAN	0	1
デフォルトCOS値	1	1
VLANグループ①	✓	✓

- ③ [設定保存] ボタンをクリックする。



お知らせ

- タグ未対応のポートは削除、タグ対応のポートは挿入にすることで、タグ未対応機器をタグ対応ネットワークへ接続することが可能です。

4 再起動をする

- 1 本商品を再起動します。

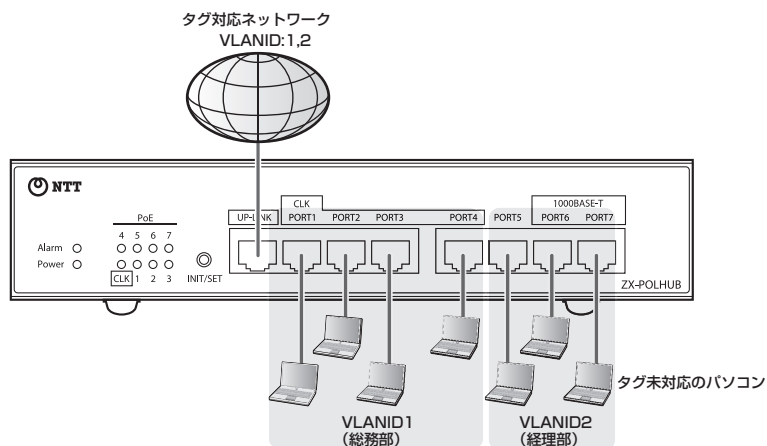
例5. タグありタグなし混在下におけるタグ VLAN

タグに対応したネットワークへタグ未対応機器を接続する際に、タグVLANを使用してネットワークを切り分けすることが可能です。

この例では、タグ未対応のパソコンを使用していますが、タグVLANにより総務部と経理部で通信できません。

■ 設定の概要 (8ポート品の場合)

- 本商品を1台使用する
- VLANを2グループ作成する
VLAN1：ポート1～4 …… 総務部
VLAN2：ポート5～7 …… 経理部
UP-LINK …… ネットワーク
- タグ未対応機器接続ポートを設定する ポート1～4
タグ挿入削除設定：削除
デフォルトVLANID：1
- タグ未対応機器接続ポートを設定する ポート5～7
タグ挿入削除設定：削除
デフォルトVLANID：2
- タグ対応ネットワーク接続ポートを設定する ポートUP-LINK
タグ挿入削除設定：挿入



■ 設定のしかた

1 機器を準備する

- 1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

2 本商品にログインする

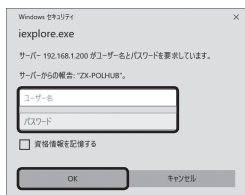
- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「192.168.1.200」に設定されています。

- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

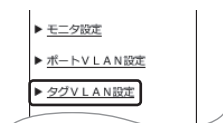
ユーザー名：admin
パスワード：admin



3 VLANを作成する

P44の接続図の通りにVLANを作成します。

- 1 画面左側のメニューで「タグVLAN設定」をクリックします。



- 2 「タグVLAN設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。



- ① タグVLAN設定を「有効」に設定する。

タグVLAN設定 有効 無効

- ② 各ポートの設定項目を下表のように設定する。

	UP-LINK	ポート1～ ポート4	ポート5～ ポート7
タグ挿入削除設定	挿入	削除	削除
デフォルトVLAN	0	1	2
デフォルトCOS値	1	1	1
VLANグループ①	✓	✓	
VLANグループ②	✓		✓

- ③ 「設定保存」ボタンをクリックする。

お知らせ

- タグVLANを設定することにより、タグ内のVLANIDで振り分けすることが可能です。

4 再起動をする

- 1 本商品を再起動します。

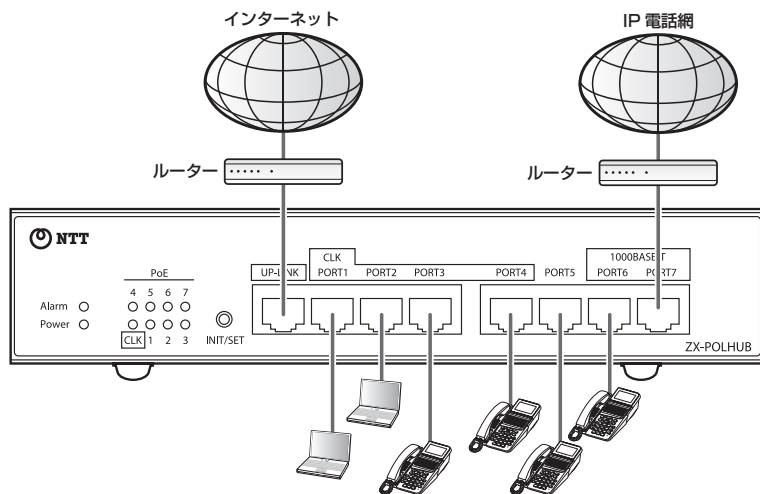
例 6. 優先制御設定 ポートプライオリティー

ポートプライオリティーは、優先順位を高く設定したポートのパケットを優先的に送る機能です。

この例では、ポートプライオリティーを利用した設定方法を説明します。電話機の音声パケットを優先で送ります。

■ 設定の概要 (8ポート品の場合)

- 本商品を1台使用する
- ポートプライオリティーを設定する
 - ポート7：高 …………… IP電話網
 - ポート3～6：高 …………… 電話
 - UP-LINK：低 …………… インターネット
 - ポート1～2：低 …………… パソコン



■ 設定のしかた

1 機器を準備する

- 1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

2 本商品にログインする

- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力します。

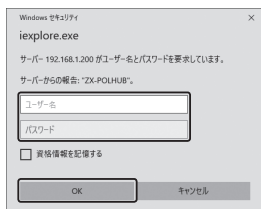
INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「192.168.1.200」に設定されています。

- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：admin

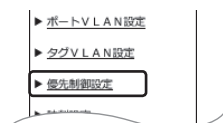
パスワード：admin



3 優先制御を設定する

P46の接続図の通りに優先制御を設定します。

- 1 画面左側のメニューで「優先制御設定」をクリックします。



- 2 「優先制御設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

- ① ポートプライオリティーを「有効」に設定する。



- ② 「設定保存」ボタンをクリックする。



- ③ 「詳細設定」をクリックする。



- 3 「ポートプライオリティー 詳細設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

- ① ポートプライオリティーの設定を行う。

ポート番号	優先度
UP-LINK	低
ポート1	低
ポート2	低
ポート3	高
ポート4	高
ポート5	高
ポート6	高
ポート7	高

- ② 「設定保存」ボタンをクリックする。



- 優先度を高く設定したポートからのパケットを優先的に送出します。

4 再起動をする

- 1 本商品を再起動します。

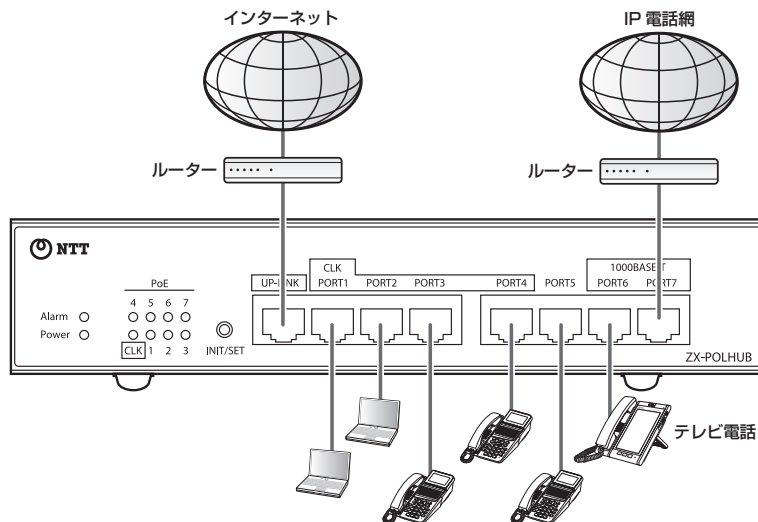
例7. 優先制御設定 CoS プライオリティー

CoSプライオリティーは、タグのCoS値により優先順位を変えて送る機能です。

この例では、CoSプライオリティーを利用した設定方法を説明します。呼制御、電話、映像、パソコンの順で優先的にパケットを送信し、発着信の遅延・音声途切れを防ぎます。

■ 設定の概要 (8ポート品の場合)

- 本商品を1台使用する
- CoSプライオリティーを設定する
 - CoS値6：最高 …… 呼制御
 - CoS値4：高 …… 電話
 - CoS値2：低 …… 映像
 - CoS値0：最低 …… パソコン



■ 設定のしかた

1 機器を準備する

- 1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

2 本商品にログインする

- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力します。

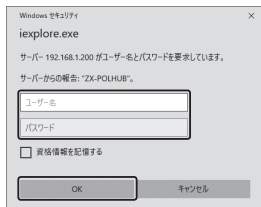
INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで（約5秒）押し続けた時、本商品のIPアドレスは「192.168.1.200」に設定されています。

- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名：admin

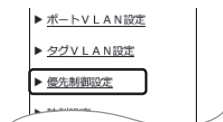
パスワード：admin



3 優先制御を設定する

P48の接続図の通りに優先制御を設定します。

- 1 画面左側のメニューで「優先制御設定」をクリックします。



- 2 「優先制御設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

- ① CoSプライオリティーを「有効」に設定する。



- ② 「設定保存」ボタンをクリックする。



- ③ 「詳細設定」をクリックする。



- 3 「CoSプライオリティー 詳細設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

- ① CoSプライオリティーの設定を行う。

CoS値	優先度
0	最低
1	高
2	低
3	高
4	高
5	高
6	最高
7	高

- ② 「設定保存」ボタンをクリックする。



お知らせ

- 優先度を高く設定したCoS値のペケットを優先的に送出します。

4 再起動をする

- 1 本商品を再起動します。

ネットワーク構成例

例 8. 優先制御設定 DSCP プライオリティー

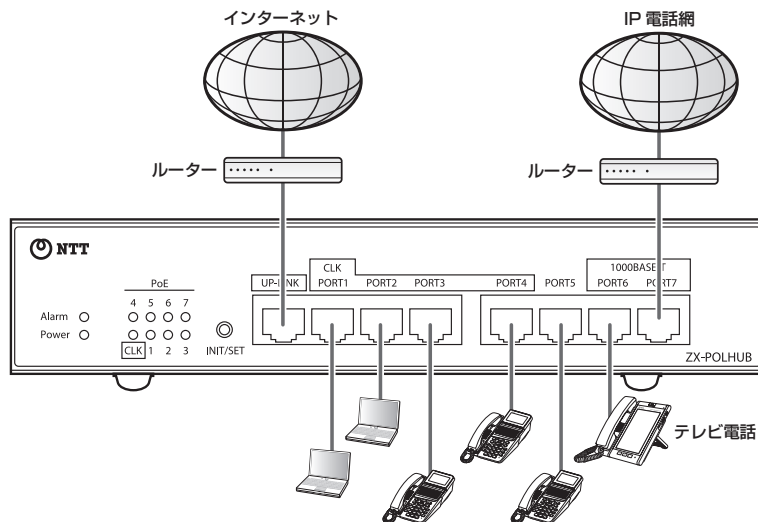
DSCPプライオリティーは、IPヘッダのDSCP値により優先順位を変えて送る機能です。

この例では、DSCPプライオリティーを利用した設定方法を説明します。電話、呼制御、映像、パソコンの順で優先的にパケットを送信し、発着信の遅延・音声途切れを防ぎます。

■ 設定の概要 (8ポート品の場合)

- 本商品を1台使用する
- DSCPプライオリティーを設定する

DSCP値 40 ~ 47 :	最高	電話
DSCP値 32 ~ 39, 48 ~ 63 :	高	呼制御
DSCP値 16 ~ 31 :	低	映像
DSCP値 0 ~ 15 :	最低	パソコン



■ 設定のしかた

1 機器を準備する

- 1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続して、それぞれの電源をONにします。

2 本商品にログインする

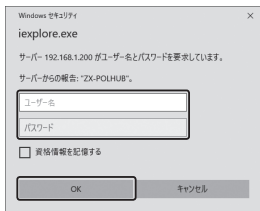
- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力します。

INIT/SETスイッチを押した状態で電源を投入し、PoEランプが全点滅するまで(約5秒)押し続けた時、本商品のIPアドレスは「192.168.1.200」に設定されています。

- 2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

お買い求め時のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

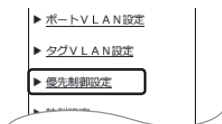
ユーザー名: admin
パスワード: admin



3 優先制御を設定する

P50の接続図の通りに優先制御を設定します。

- 1 画面左側のメニューで「優先制御設定」をクリックします。



- 2 「優先制御設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

- ① DSCPプライオリティーを「有効」に設定する。



- ② 「設定保存」ボタンをクリックする。



- ③ 「詳細設定」をクリックする。



- 3 「DSCPプライオリティー 詳細設定」画面が表示されたら、以下の操作を行います。

優先制御設定 > DSCPプライオリティー 詳細設定

DSCPプライオリティーの詳細設定を行います。
IPv4のソフトウェア、またはIPv6、TC (red)の各値毎に設定が可能です。
設定変更を行うには各値をすべてクリックする必要があります。

DSCP値	優先度							
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低
8	9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	31	
32	33	34	35	36	37	38	39	
40	41	42	43	44	45	46	47	
48	49	50	51	52	53	54	55	
56	57	58	59	60	61	62	63	

設定保存 元に戻す ②

- ① DSCPプライオリティーの設定を下表のとおり設定する。

DSCP値	
0～15	最低
16～31	低
32～39	高
40～47	最高
48～63	高

- ② 「設定保存」ボタンをクリックする。



お知らせ

- 優先度を高く設定したDSCP値のパケットを優先的に送出します。

4 再起動をする

- 1 本商品を再起動します。

故障かな？と思ったときは

■ 故障かな？と思ったときは

本商品が正しく動作しない場合は次のことを確認してください。

Powerランプが点灯していますか

- ・ Powerランプが点灯していない場合は、ACケーブルが断線していないか、ACケーブルが正しく接続されているか確認をしてください。

Actランプは点灯または点滅していますか

- ・ Actランプは接続された機器が正しく接続されているときに点灯または点滅します。
消灯している場合は、LANケーブルが断線していないか、LANケーブルが100 mを超えていないか確認をしてください。

PoE対応端末の電源が入らない

- ・ PoEランプが点灯していますか。点灯していない場合は、Web設定の給電設定を確認してください。

全ポートが給電しなくなった

- ・ ACケーブルが抜けていませんか。ACケーブルが正しく接続されているか確認をしてください。
または、通風孔をふさいで本商品が熱くなっていませんか。通風孔にほこり等が付着していないか、本商品の周りに通風孔をふさいでいる物がないか確認をしてください。
本商品の温度が上昇すると自動で給電が停止されます。

■ 仕様

項 目		仕 様
LANインターフェイス	物理インターフェイス	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3ab (1000BASE-T) ^{*1} IEEE802.3u (100BASE-TX)
	スイッチングHUB	8/16ポート
	伝送速度	10/100/1000Mbps
	最大伝送距離	100m
	接続コネクタ	RJ45 (8ピンモジュージャック)
	その他	オートネゴシエーション/オートクロスオーバーコネク
Power over Ethernet		IEEE802.3af Pin out: Alternative B
寸法		8ポート品：215mm (幅) × 200mm (奥行き) × 44mm (高さ) 16ポート品：327mm (幅) × 200mm (奥行き) × 44mm (高さ)
重量		8ポート品：約1.5kg 16ポート品：約2.2kg
電源		AC100V±10V 50/60Hz
消費電力		8ポート品：最大145VA、最大95W、最大82kcal/h 16ポート品：最大210VA、最大140W、最大121kcal/h
使用環境	動作温湿度	5～35℃、45～80% (結露のないこと)
	冷却条件	自然冷却
	設置環境	国内、一般家庭、一般事務
	運転条件	連続運転
VCCI		クラスA

- ※1 8ポート品：UP-LINK /ポート6～7のみ対応
16ポート品：UP-LINK /ポート12～15のみ対応
(UP-LINKポートはクロック入力設定をUP-LINKと設定した場合は未対応です)

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください）。

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおつかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおつかがいするための費用が不要となります。

● 故障に関するお問い合わせ

局番なしの113番（無料）へご連絡ください。

※ 携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしています。

受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しております。

MEMO

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：https://web116.jp/ced/index_biz.html
<https://flets-w.com/solution/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9:00～17:00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9:00～17:00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2020 NTEAST・NTTWEST



本 3499-1 (2020.11)
ZX-POLHUB トリセツ - <1>

4444066200|H01